

科目名	LHRⅢ						
科目名(英)							
単位数	1単位	時間数	16時間	担当者	上村仁美		
実施年度	2019	実施時期	後期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	こども未来学科3年						
授業概要	クラスの団結力や交流を深める為にクラス行事その他、クラスメイトとの親交を深める為に必要な話し合いなど・準備を行い、クラス行事の実行を行う						
授業形式	講義:	○	演習:		実習:		
				実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
				○		学生主体でクラスメイトと親交が深まるクラス行事の計画を立てることが出来る	
			○	○		立案した計画を基にクラス行事を実行する	
テキスト・教材 参考図書							
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	クラス行事計画 話し合い①					
	2	クラス行事計画 ②					
	3	クラス行事 準備					
	4	クラス行事					
	5	クラス行事					
	6	クラス行事					
	7	クラス行事					
	8	まとめ 振り返り					
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1)授業・クラス行事の出席 (2)行事計画・準備における意欲・関心・態度 以上を以下の観点・割合で評価する。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	授業・クラス行事の出席					○	50%
	意欲・関心・態度				○		50%
履修上の注意	授業の3分の1以上の欠席で単位習得不可とする						

科目名	ペン字Ⅱ-②						
科目名(英)	Penmanship						
単位数	1単位	時間数	16時間	担当者	入江 陽子		
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	こども未来学科3年						
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者として、業務遂行時に実践できる応用力を習得する。 ・正しいペンの持ち方・姿勢を守り書写することにより集中力を付ける。 						
授業形式	講義:	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					正しい言語づかいで書写することができる	
		○				作文に於て、自分の考えをまとめ、表現することができる	
			○			書式に従って、美しい文字で書写することができる	
			○			正しいペンの持ち方・姿勢で書写することができる	
			○			集中力を持って取り組むことができる	
テキスト・教材 参考図書	なし						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	ペン字の応用 ― 大字練習、平仮名名前				マジックを用意しておく	
	2	ペン字の応用 ― 小字練習、おたより帳				平仮名の復習をしておく	
	3	ペン字の応用 ― 手紙、就職採用お礼状				小字練習復習をしておく	
	4	ペン字の応用 ― 作文、就職試験演習				お礼状清書しておく	
	5	ペン字の応用 ― 作文、就職試験演習				作文提出できるようにしておく	
	6	実用書 ― 年賀状				年賀状例を用意しておく	
	7	実用書 ― 掲示物を書く				年賀状提出できるようにしておく	
	8	実用書 ― 黒板の書き方				人前で行動できるようにしておく	
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1)授業の中で実施する作文と実技課題(お礼状、年賀状)で評価する。 成績評価基準はS(90点以上)、A(80点以上)、B(70点以上)、C(60点以上)、D(59点以下)とする						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	作品	○	○	◎			80%
	出席				◎		20%
履修上の注意	黒の水性ボールペンを用意。黒マジックを用意 筆ペンやカラーペンで年賀状を仕上げるつもりでいること						

科目名	マナー						
科目名(英)							
単位数	1単位	時間数	16時間	担当者	小川 智子		
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	こども未来学科 3年						
授業概要	<p>保育者としての立ち居振る舞いについて考え、豊かな対人コミュニケーションの為の言葉遣いとマナーを身につける。 実習先で誰からも好感・信頼感を持たれる実習生であるための、意識と知識の習得を目指す。 社会人としての正しいマナー、慶弔の知識の習得を目指す。</p>						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					実習生の品格について理解できる	
	○					電話応対や訪問時の正しい言葉遣いとマナーについて理解できる	
	○					好感・信頼感を高める言語コミュニケーションについて理解し活用することが出来る	
	○					実習中の正しいマナーや報告、連絡、相談について理解し活用することが出来る	
			○			愛される保育者としての立ち居振る舞いについて理解し実行することが出来る	
テキスト・教材 参考図書	プリント						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	授業オリエンテーション・就職活動マナー(面接・手紙)					
	2	社会人1年生の正しい言葉遣い					
	3	社会人1年生の正しい言葉遣いとケーススタディ					
	4	社会人1年生の正しい言葉遣いとケーススタディ、名刺のマナー					
	5	新社会人の宴会マナー(言葉遣いとマナー)					
	6	年賀状のマナー、接待(ご案内)のマナー、職場の人間関係					
	7	席次のマナー、年末年始のマナー					
	8	席次のマナー、まとめ、茶菓の接待					
	9	冠婚葬祭のマナー、慶弔マナーのまとめ					
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1)授業の中でグループワークや発表を数回実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				70%
	グループワーク・発表				◎		30%
履修上の注意	出席が6回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	一般教養Ⅲ-②						
科目名(英)							
単位数	1単位	時間数	16時間	担当者	岩下 隆司		
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	こども未来学科3年						
授業概要	・保育に関する時事ニュースに興味関心を持ち、現場で何が問題となっているのか、今後現場がどのように変わっていくのかを考えていく						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					保育に関する時事ニュースを目に関心を持つことができ、現場の現状を考えることができる	
テキスト・教材 参考図書							
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	保育に関する時事ニュース①					
	2	保育に関する時事ニュース②				気になるニュースを各自調べておく	
	3	保育に関する時事ニュース③				気になるニュースを各自調べておく	
	4	保育に関する時事ニュース④				気になるニュースを各自調べておく	
	5	保育に関する時事ニュース⑤				気になるニュースを各自調べておく	
	6	保育に関する時事ニュース⑥				気になるニュースを各自調べておく	
	7	保育に関する時事ニュース⑦				気になるニュースを各自調べておく	
	8	レポート作成					
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	授業最終回に「保育現場が置かれている現状、働くうえで何を気を付けるべきか、今後の保育現場の展望」などをテーマにレポートを提出 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	レポート		◎				80%
	授業態度				◎		20%
履修上の注意	出席が6回に満たない場合は、単位を付与しない。						

科目名	音楽表現Ⅲ-②					
科目名(英)	music performanceⅢ					
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	中村寛子	
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目		
対象学科・学年	こども未来学科3年					
授業概要	保育の現場では、音楽は必須のものとなる。朝登園後「おはようの歌」、昼食には「お弁当の歌」、お昼寝時には「お休みの歌」、降園時には「お帰りの歌」、その他にも自然や季節を感じて感性を高めるために「様々な季節の歌」、「遊びうた」、誕生会等の行事に行進を促す「行進曲」等。その音楽をすべて、保育士が把握をし、ピアノで伴奏していかなくてはいけない。この授業ではできる限り沢山の曲を歌い、ピアノ演奏する。そのために必要な技術、知識を身に付けるものである。3年生は更に年度末にピアノ発表会があるため、課題曲(バイエル教本又はソナチネ曲集より任意の1曲)自由曲(何でも好きな曲1曲、Jポップ、クラシック何でも可)を練習する。ピアノが弾けるようになる喜びを感じてもらう為であり、何でも頑張ればできるよになるということを感じてもらうために、独自に考案した授業内容である。このことにより、自己肯定感が高まり、また、ピアノ技術のかなり向上する。					
授業形式	講義:	演習:	実習:	実技: ○	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	
	○				音楽の基本知識となる、楽典の習得(楽譜、音符や休符、拍子、記号等の知識)	
		○			ピアノ演奏実技の習得(正しい運指、テクニック、左右の手のスムーズな動きバラバラな動きに対するスムーズな動き)	
		○			声楽の基本実技の習得(正しい音程、呼吸法、リズム等)	
		○			ピアノ演奏における表現力の習得(強弱、スタッカート、レガート、マルカート、レグジェロ等)	
テキスト・教材 参考図書	<ul style="list-style-type: none"> ・近畿大学九州短期大学発行/ピアノ教本・声楽教本 ・ヤマハミュージックメディア発行/はじめての楽典ブック ・チャイルド社発行/こどものうた100 ・音楽の友社発行/バイエル教則本・講師作成の楽譜集(ファイル保管) 					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	・後期授業ガイダンス(10分)・練習(80分)			ピアノ発表会の自由曲、課題曲の練習	
	2	おはようの歌の実習(5分)・ピアノ発表会の練習(80分)・お帰りの歌の実習(5分)			ピアノ発表会の自由曲、課題曲の練習	
	3	おはようの歌の実習(5分)・ピアノ発表会の練習(80分)・お帰りの歌の実習(5分)			ピアノ発表会の自由曲、課題曲の練習	
	4	おはようの歌の実習(5分)・ピアノ発表会の練習(80分)・お帰りの歌の実習(5分)			ピアノ発表会の自由曲、課題曲の練習	
	5	おはようの歌の実習(5分)・ピアノ発表会の練習(80分)・お帰りの歌の実習(5分)			ピアノ発表会の自由曲、課題曲の練習	
	6	おはようの歌の実習(5分)・ピアノ発表会の練習(80分)・お帰りの歌の実習(5分)			ピアノ発表会の自由曲、課題曲の練習	
	7	おはようの歌の実習(5分)・ピアノ発表会の練習(80分)・お帰りの歌の実習(5分)			ピアノ発表会の自由曲、課題曲の練習	
	8	中間発表会			ピアノ発表会の自由曲、課題曲の練習	
	9	おはようの歌の実習(5分)・ピアノ発表会の練習(80分)・お帰りの歌の実習(5分)			ピアノ発表会の自由曲、課題曲の練習	
	10	おはようの歌の実習(5分)・ピアノ発表会の練習(80分)・お帰りの歌の実習(5分)			ピアノ発表会の自由曲、課題曲の練習	
	11	おはようの歌の実習(5分)・ピアノ発表会の練習(80分)・お帰りの歌の実習(5分)			ピアノ発表会の自由曲、課題曲の練習	
	12	おはようの歌の実習(5分)・ピアノ発表会の練習(80分)・お帰りの歌の実習(5分)			ピアノ発表会の自由曲、課題曲の練習	
	13	おはようの歌の実習(5分)・ピアノ発表会の練習(80分)・お帰りの歌の実習(5分)			ピアノ発表会の自由曲、課題曲の練習	
	14	おはようの歌の実習(5分)・ピアノ発表会の練習(80分)・お帰りの歌の実習(5分)			ピアノ発表会の自由曲、課題曲の練習	
	15	ピアノ発表会				
評価方法	授業の中での課題曲(小テスト)が合格しない場合は、定期試験の資格がないものとし、試験を受験できない。					
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他
	定期試験	◎	◎			評価割合
	小テスト		◎		○	80%
						20%
履修上の注意	3年生では、実習前は実習先から指定された曲の練習、採用試験前は、採用試験曲の練習、発表会前は発表会の曲を最優先とするため、課題を多く設定しない。個々により目標が異なる。					

科目名	交流ゼミⅢ-②					
科目名(英)						
単位数	1単位	時間数	16時間	担当者	中畔政憲・上村仁美・下川武志	
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目		
対象学科・学年	こども未来学科 3年					
授業概要	こども未来学科の全学年の学生を混合し、グループを編成。そのグループ内で学年を超えた交流を図る。最終的には、当科で実施する「交流会」に向けての準備をおこなっていく。					
授業形式	講義:	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標
				○		積極的な姿勢を持つて、他学年の学生やグループ内の学生とコミュニケーションを図ることが できる。
				○		物事の段取りを修正しながら、臨機応変な対応を払いつつも計画的に行事を実行するこ ができる。
				○		物怖じすることなく、積極的にレクリエーションに参加することができる。
				○		グループの中心となり、レクリエーションを企画・運営することができる。
			○		人間同士の関わりの中で、人間関係の調整を図ることができる。	
テキスト・教材 参考図書						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示
	1	3学年全体でのレクリエーション				
	2	3学年全体でのレクリエーション				
	3	グループ内でのレクリエーション				
	4	こども未来学科「交流会」に向けての準備				
	5	交流会での実践				
	6	交流会での実践				
	7	交流会での実践				
	8	交流会での実践				
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
15						
評価方法	ゼミに臨む姿勢、態度が第一優先である。					
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他
						評価割合
履修上の注意	2/3以下の出席状況にて、単位習得不可とする。					

科目名	児童家庭福祉Ⅱ					
科目名(英)	Child and Family Welfare					
単位数	1単位	時間数	16時間	担当者	郡嶋 かおる	
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目		
対象学科・学年	こども未来学科3年					
授業概要	児童家庭福祉Ⅰで学んだ内容を基底にして、深化させていく。 何のために法律や制度があるのか理解をし支援のための各法律や制度に関する知識の獲得を目指す。 子どもの幸福、親の幸福について身近な側面から考える力を養う。					
授業形式	講義:	○	演習:		実習:	
					実技:	
					※ 主たる方法:○	その他:△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	
	○				現代社会に子ども家庭にどのような課題が生じているか説明できる。	
	○				児童福祉六法をはじめとして各法制度について説明することができる。	
	○				こども虐待の現実と貧困について考え報告することができる。	
	○	○			子どもの幸福度について調べ、発表することができる。	
			○	積極的に発言、質問することができる。		
テキスト・教材 参考図書	シードブック 浅井 春夫『子ども家庭福祉』第三版 建帛社 『社会福祉の動向2019』『福祉小六法2019』					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	①当該科目で学ぶ内容・進め方、学生に期待する点等を説明する。子ども家庭福祉Ⅱで学ぶ内容について理解する。 ②人生ははじめの社会保障としての「子ども家庭福祉」を考える。			・自己紹介シートおよびふり返りを記入。	
	2	①日本の子ども虐待の深刻な現実と貧困 ②世界と日本の子どもの幸福度の比較 ③子ども家庭福祉の中心的課題は児童養護問題であること。				
	3	①貧困・格差の中のこどもたち30の現実 ②子どもの生活の仕組みと社会的背景				
	4	①世界の子どもと日本の子ども(世界の子ども問題クイズ、貧困問題と世界の子ども、戦争の中の子ども等)				
	5	①子どもの人権(子どもの権利は守られているか—どんな現実があるか) ②子どもの権利条約と乳幼児の権利 ③子どもの権利擁護システム				
	6	①人口減少時代の到来(少子化 何が問題?) ②少子化社会の男女共同参画社会(ライフスタイルの多様化と支援) ③少子化社会の中の少子化対策・保育政策				
	7	① 専門機関の連携とコミュニティのネットワーク(子どもにとってのコミュニティ、ネットワークづくりの必要性和困難、課題)				
	8	世界の子ども家庭福祉の動向(国によって違う「子ども家庭福祉」) ① アメリカ・イギリス・ニュージーランド、②アジア諸国				
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
15						
評価方法	(1)レポートを2回実施。(2)定期試験(筆記)を実施。これらをふまえ下記のように評価。 成績評価基準はS(90点以上)、A(80点以上)、B(70点以上)、C(60点以上)、D(59点以下)とする					
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他
	定期試験	◎	○			70%
	小テスト	◎	◎			10%
	宿題・レポート	○	◎			10%
	発表・作品				◎	10%
履修上の注意						

科目名	自主実習演習						
科目名(英)							
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	上村 仁美
実施年度	2019年度		実施時期	後期		実務家教員 担当科目	
対象学科・学年	こども未来学科 3年						
授業概要	就職内定に向けて、施設や事業所、会社等において自習実習を計画的に実施する。						
授業形式	講義:	演習:	○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
				○		希望就職施設または企業から内定をもらう。	
テキスト・教材 参考図書							
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	自主実習(社会福祉施設や福祉事業所や一般企業等)					
	2	自主実習(社会福祉施設や福祉事業所や一般企業等)					
	3	自主実習(社会福祉施設や福祉事業所や一般企業等)					
	4	自主実習(社会福祉施設や福祉事業所や一般企業等)					
	5	自主実習(社会福祉施設や福祉事業所や一般企業等)					
	6	自主実習(社会福祉施設や福祉事業所や一般企業等)					
	7	自主実習(社会福祉施設や福祉事業所や一般企業等)					
	8	自主実習(社会福祉施設や福祉事業所や一般企業等)					
	9	自主実習(社会福祉施設や福祉事業所や一般企業等)					
	10	自主実習(社会福祉施設や福祉事業所や一般企業等)					
	11	自主実習(社会福祉施設や福祉事業所や一般企業等)					
	12	自主実習(社会福祉施設や福祉事業所や一般企業等)					
	13	自主実習(社会福祉施設や福祉事業所や一般企業等)					
	14	自主実習(社会福祉施設や福祉事業所や一般企業等)					
15	自主実習(社会福祉施設や福祉事業所や一般企業等)						
評価方法	活動報告書がない場合は出席とみなさない。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	出席状況						70%
	活動報告書						30%
履修上の注意							

科目名	就職実務Ⅲ						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	上村 仁美		
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	こども未来学科3年						
授業概要	社会人になる上でのマナーや身嗜み、教養知識を身につける。まずは、就職活動における企業研究・履歴書添削・面接指導を行い就職内定へ繋げる。また、クラスや学科行事を行い学科・学年を跨いで交流を深める事でコミュニケーション力向上や協調性を身につけ業界へ適した人材育成に繋げる。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
				○		業界に適した清潔感のある身嗜みをし日常的に維持することができる	
				○		社会人としてのマナー(挨拶・電話・メール・態度など)を身につけ実践することができる	
	○					就職活動におけるの報連相を素早く行うことができる	
	○					好感のもてる表情や口調で自身の伝えたいことを話し、企業の求める人材像に相応した面接ができる	
			○			自身の立場をわきまえて行動し、周囲へ配慮することができる	
テキスト・教材 参考図書	就職活動ガイドブック、求人票、受験者報告書、配布プリント						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	就職活動指導①(就職活動状況報告・企業研究・受験準備)			説明会資料やパンフレットを準備しておくこと 企業HPをみておくこと		
	2	就職活動指導②(就職活動状況報告・企業研究・受験準備)			説明会資料やパンフレットを準備しておくこと 企業HPをみておくこと		
	3	就職活動指導③(就職活動状況報告・企業研究・受験準備)			説明会資料やパンフレットを準備しておくこと 企業HPをみておくこと		
	4	就職活動指導④(履歴書作成)			履歴書に記載する内容をまとめておくこと		
	5	就職活動指導⑤(履歴書作成)			履歴書に記載する内容をまとめておくこと		
	6	就職活動指導⑥(履歴書作成)			履歴書に記載する内容をまとめておくこと		
	7	就職活動指導⑦(履歴書作成)			履歴書に記載する内容をまとめておくこと		
	8	就職活動指導⑧(履歴書作成・添削)			履歴書の下書きをしておくこと		
	9	就職活動指導⑨(履歴書作成・添削)			履歴書の下書きをしておくこと		
	10	就職活動指導⑩(履歴書作成・添削)			履歴書の下書きをしておくこと		
	11	就職活動指導⑪(履歴書作成・添削)			履歴書の下書きをしておくこと		
	12	就職活動指導⑫(履歴書添削・面接対策)			履歴書の下書きをしておくこと 面接で話す内容を考えておくこと		
	13	就職活動指導⑬(履歴書添削・面接対策)			履歴書の下書きをしておくこと 面接で話す内容を考えておくこと		
	14	就職活動指導⑭(履歴書添削・面接対策)			履歴書の下書きをしておくこと 面接で話す内容を考えておくこと		
15	就職活動指導⑮(履歴書添削・面接対策)			履歴書の下書きをしておくこと 面接で話す内容を考えておくこと			
評価方法	(1)提出物は各期限を設定する (2)ホームワークを数回実施する (3)自習・行事を数回実施する 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	授業態度				◎		50%
	意欲・努力				◎		20%
	提出物状況				◎		30%
履修上の注意	欠席が6回以上となる場合は、単位未取得となる						

科目名	障害児保育Ⅱ						
科目名(英)							
単位数	1単位	時間数	16時間	担当者	前田 聖悟		
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	こども未来学科3年						
授業概要	幼稚園、保育園における障害児保育についての知識、理解を深める。関係機関との連携方法や保護者との連携、クラス運営における障害児に対する配慮等について学び、より実践的な知識を深めていく。						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○		◎			障害児の保護者の気持ちを理解し保育者としてどのように気持ちに寄り添うべきかを知る	
	◎	◎				障害児に対する配慮に至るまでのプロセスを正しく理解する	
		◎		◎		保育現場で実践されている障害児保育について理解し説明できる	
テキスト・教材 参考図書	必要に応じて指示する						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	授業ガイダンス、保育園のケース検討					
	2	保育園のケース検討					
	3	幼稚園のケース検討					
	4	あゆみらい保育園実習				実習に臨める服装等の準備	
	5	あゆみらい保育園実習				実習に臨める服装等の準備	
	6	あゆみらい保育園実習				実習に臨める服装等の準備	
	7	あゆみらい保育園実習				実習に臨める服装等の準備	
	8	あゆみらい保育園振り返り					
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	①授業態度 ②発表 ③実践への取り組み 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	授業態度		◎		◎		40%
	発表	○	◎		◎		30%
	取り組み		◎		◎		30%
履修上の注意	あゆみらい保育園の実習は1日4コマとして扱う						

科目名	選択授業(保育)						
科目名(英)							
単位数	1単位	時間数	16時間	担当者	前田 聖悟		
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	こども未来学科3年						
授業概要	保育現場での特にクラス運営に関わる部分の保育者の仕事を理解し、就職後すぐにクラス担任として業務に携わっていただけるようになるための知識、技術を習得する						
授業形式	講義:	○	演習:		実習:		
				実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○	○				保育における記録の重要性を理解しそれぞれの役割を知る	
	○	○				クラス作り作成の概要を知り、大まかな作成が出来るようになる	
		○	○	○		保育者として、社会人として必要な言葉遣い、態度を身に付ける	
テキスト・教材 参考図書	必要に応じて指示する						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	授業オリエンテーション					
	2	クラス便りに必要な要素について					
	3	クラス作り作成				作成に必要な道具等の準備	
	4	クラス作り作成				作成に必要な道具等の準備	
	5	園での電話対応について、クレーム対応について					
	6	要録、年間指導計画、月案、週案について					
	7	病気、ケガの応急処置について					
	8	連絡帳の書き方について					
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	①授業態度 ②発表 ③実践への取り組み 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	授業態度		○		◎		40%
	発表・提出物		◎		◎	○	30%
	取り組み	○	○		◎		30%
履修上の注意	3回以上の欠席で単位取得は認めない						

科目名	卒業論文Ⅱ							
科目名(英)								
単位数	3単位	時間数	48時間	担当者	上村 仁美			
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目				
対象学科・学年	こども未来学科 3年							
授業概要	3年間の学修に基づき、興味のあるテーマについて実践と理論を結び付け、エビデンスをもとに科学的に論じる方法を学ぶ。単著とするか共著とするかは、学生が選択する。							
授業形式	講義:	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△			
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標		
	○	○		○		証明したいことがらについて論理的に述べることができる。		
	○	○		○		論文の中において、説得性のある資料提示ができる。		
	○	○		○		論文の構成について構想することができる。		
	○	○		○	○	共著とする場合、分担しながら協力して作業を進めることができる。		
テキスト・教材 参考図書								
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示		
	9	先行論文研究						
	10	先行論文研究						
	11	先行論文研究						
	12	先行論文研究						
	13	先行論文研究						
	14	進捗状況報告				発表に向けてプレゼンテーションの準備をする。		
	15	論文執筆開始						
	16	論文執筆						
	17	論文執筆						
	18	論文執筆						
	19	論文執筆						
	20	論文執筆						
	21	論文執筆						
	22	仮査読						
	23	修正						
	24	論文提出・発表会						
	評価方法	評価は、以下の通りとする。						
			言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
		論文審査	◎	○		○		70%
		取り組む態度	○	○		◎		10%
プレゼンテーション力		○	◎		○		20%	
履修上の注意	2/3以下の出席状況にて、単位習得不可とする。							

科目名	保育・教職実践演習Ⅱ						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	上村 仁美		
実施年度	2019	実施時期	後期	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	こども未来学科 3年						
授業概要	これまでの講義で習得してきた知識や技術の総仕上げとして、演習を通して保育者としての実践力を高める事を目指す。 また、現場で活躍する保育者や卒業生の講話など見聞する機会を設け、自分の保育観をつくる機会とする。 履修中の授業のハブ科目としてより、深く研究したり実践を行う授業とし、卒業までの学習の総まとめを行う						
授業形式	講義:	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	目標		
	◎			○	幼稚園教諭・保育者として備えるべき姿勢や心構え、役割などの基本的な事項を理解し説明できる。		
	◎				保育者としての今の時点での自分の保育観を見出す事や考える事が出来る		
				◎	保育者としてチームで研究を行ったり、制作を進めたりする為の協調性を養う事が出来る		
テキスト・教材 参考図書	なし						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	オペレッタ練習① 小学校でのリハーサル			東住吉小学校体育館にて実施		
	2	オペレッタ練習② 小学校でのリハーサル			東住吉小学校体育館にて実施		
	3	オペレッタ練習③ 小学校でのリハーサル			東住吉小学校体育館にて実施		
	4	オペレッタ本番 発表			東住吉小学校体育館にて実施		
	5	オペレッタ本番 発表			東住吉小学校体育館にて実施		
	6	オペレッタを通しての振り返り まとめ					
	7	オペレッタを通して見る保育における創作劇の重要性					
	8	卒業生に学ぶ～幼稚園教諭編～					
	9	卒業生に学ぶ～保育士編～					
	10	卒業生に学ぶ～学生の内に学ぶべきこと～					
	11	卒業生に学ぶ～グループワーク～					
	12	保護者から学ぶ～父親の立場から見た園とは～					
	13	保護者から学ぶ～母親の立場から見た園とは～					
	14	保育者の想いを学ぶ～いろいろな職種に共通する想いとは～					
15	保育者の想いを学ぶ～自分自身の想いを重ねて～						
評価方法	①授業態度②実践に対する取り組み③出席率を以下の観点から評価する。評価を行う成績評価基準は、S(90点以上)A(80点以上)B(70点以上)C(60点以上)D(59点以下とする)						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	出席				○		30%
	実践に対する取り組み		○	○	○		30%
	意欲・関心・態度				○		40%
履修上の注意	5回以上の欠席は単位認定を認めない						

科目名	保育実技Ⅲ						
科目名(英)							
単位数	1単位	時間数	16時間	担当者	前田 聖悟		
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	こども未来学科3年						
授業概要	1、2年次に蓄積してきた知識や経験を保育現場での実践と結びつけ、より実践的な実技の学びへと昇華していく。						
授業形式	講義:	演習:	実習:	実技: ○	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○	○		○		様々な保育の技法を知り、実践を通して理解を深める	
		○		○		様々な保育の意義、ねらいを理解し、その手法について学ぶ	
テキスト・教材 参考図書	必要に応じて指示する						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	感触遊びとは(講義)					
	2	感触遊びとは(実践)				実践に必要なものを準備	
	3	保育イラストの描き方について(講義)					
	4	保育イラストの描き方について(実践)				実践に必要なものを準備	
	5	保育におけるプレゼント作りについて				実践に必要なものを準備	
	6	保育におけるプレゼント作りについて				実践に必要なものを準備	
	7	卒園製作について				実践に必要なものを準備	
	8	卒園製作について				実践に必要なものを準備	
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	①授業態度 ②発表・作品 ③実践への取り組み 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	授業態度		◎		◎		40%
	発表・作品		◎		◎	○	30%
	取り組み		○		◎		30%
履修上の注意	出席が6回に満たないものに単位は付与しない						